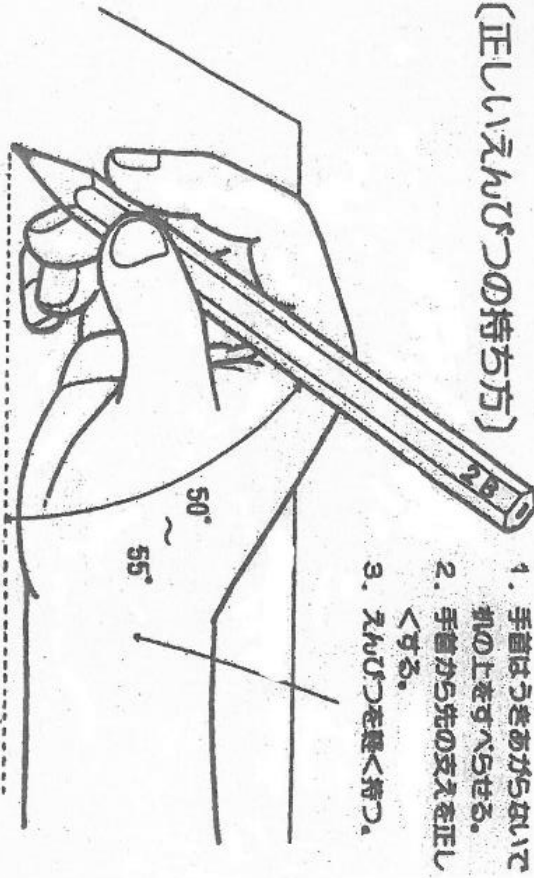


◆正しいえんぴつの持ち方をチェックしましょう

●えんぴつの持ち方が悪いと、次のように失敗します。

- ①握がつかれます。
- ②握の屈伸が少なくなるので、のびのびした大きな字が書けません。
- ③書く速度がおそくなりやす。
- ④字が見えにくい場合があります。

(正しいえんぴつの持ち方)



1. 手首はうきあがらないで机の上をすべらせる。
2. 手首から先の支えを正しくする。
3. えんぴつを軽く持つ。

4. 指先をそろえて、用紙を隠くおさえる。
5. えんぴつの先が、右胸の前あたりにくるように、ノートを動かす。
6. 背すじをのばす。

〔えんぴつを持つ時おちいりやすい10の失敗〕

①	●人さし指に無理な力が入っている。	⑤	●四本の指で持っている。
②	●親指の位置が悪い。	⑦	●二本の指で持っている。
③	●親指と人さし指がついている。	⑨	●けすつたところを持っている。
④	●人さし指を強くまげている。	⑩	●親指のつけ根に入っている。
⑤	●指をのばしすぎている。	⑪	●握の力だむきが悪い。